

秋田県内中小企業景況調査結果

(2024年4～6月期)

秋田県商工会議所連合会

〈内容〉

- ・ 全産業の項目別DI値
- ・ 産業別DI値
- ・ 地域別DI値
- ・ 産業別設備投資
- ・ 地域別設備投資
- ・ 経営上の問題点
- ・ 付帯調査
- ・ 総括表

※ 景気判断・DI値とは、「増加」・「好転」・「過剰」したとする企業割合から「減少」・「悪化」・「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。
(▲:マイナス)

《参考》県内景況調査に対する各企業のコメント 一覧

〈回収状況〉

業種	対象企業数	有効回答企業数
建設業	40	34 (85.0%)
製造業	40	30 (75.0%)
卸売業	40	33 (82.5%)
小売業	40	34 (85.0%)
サービス業	40	32 (80.0%)
合計	200	163 (81.5%)

地域	対象企業数	有効回答企業数
県北	50	43 (86.0%)
県央	75	60 (80.0%)
県南	75	60 (80.0%)

I. 全産業の項目別DI値

1. 業況

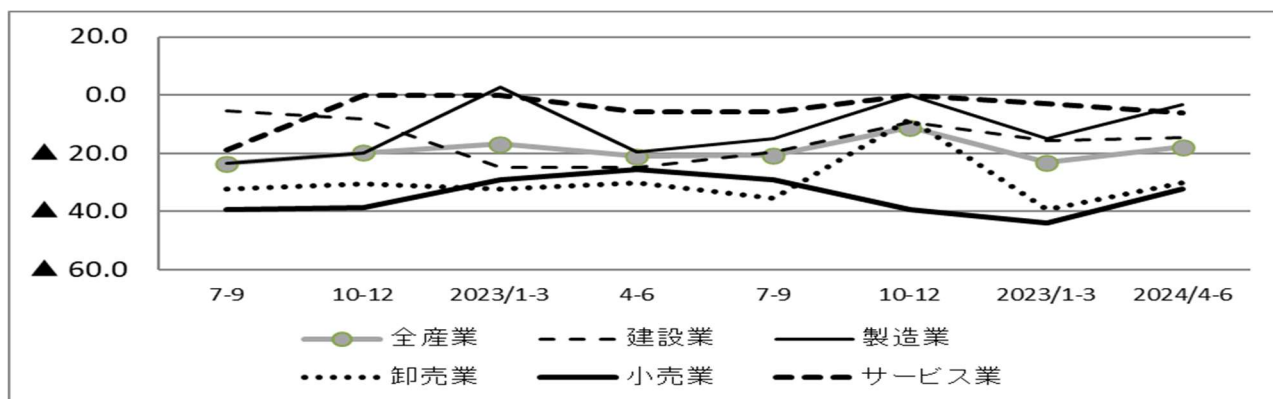
今期（4～6月）の業況DI値は、全産業で▲17.8と前期と比べ改善した。

産業別では、サービス業が悪化した一方、製造業、小売業、卸売業は改善、建設業もわずかながら改善した。

来期の見通し（7～9月）は、全産業で▲16.0と今期と比べわずかながら改善を見通している。

産業別では、小売業、製造業、サービス業が悪化を見通す一方、卸売業と建設業は改善を見通している。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月) (B)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(7~9月) (D)	今期比 (D)-(C)
全産業	▲ 23.1	▲ 21.2	▲ 17.8	5.3	▲ 16.0	1.8
建設業	▲ 15.7	▲ 9.4	▲ 14.7	1.0	▲ 5.9	8.8
製造業	▲ 15.1	0.0	▲ 3.3	11.8	▲ 6.6	-3.3
卸売業	▲ 39.3	▲ 41.4	▲ 30.3	9.0	▲ 18.2	12.1
小売業	▲ 44.1	▲ 38.3	▲ 32.3	11.8	▲ 38.3	-6.0
サービス業	▲ 3.0	▲ 18.1	▲ 6.3	-3.3	▲ 9.4	-3.1



2. 売上額・完成工事額

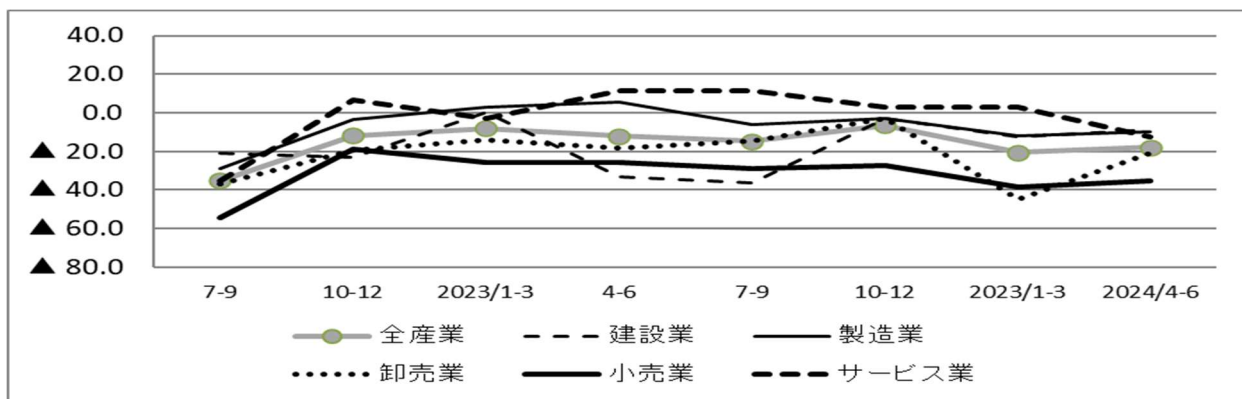
今期（4～6月）の売上額・完成工事額DI値は、全産業で▲17.8と前期と比べわずかながら改善した。

産業別では、サービス業が大幅に悪化した一方、卸売業は大幅な改善、建設業も改善、小売業と製造業はわずかながら改善した。

来期の見通し（7～9月）は、全産業で▲8.0と今期と比べ改善を見通している。

産業別では、全産業で改善を見通しており、卸売業とサービス業は大幅な改善、建設業と製造業も改善、小売業はわずかながら改善を見通している。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月) (B)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(7~9月) (D)	今期比 (D)-(C)
全産業	▲ 20.5	▲ 17.4	▲ 17.8	2.7	▲ 8.0	9.8
建設業	▲ 12.5	▲ 3.1	▲ 8.9	3.6	0.0	8.9
製造業	▲ 12.1	▲ 12.1	▲ 10.0	2.1	▲ 6.6	3.4
卸売業	▲ 44.8	▲ 20.7	▲ 21.2	23.6	▲ 3.1	18.1
小売業	▲ 38.2	▲ 32.4	▲ 35.3	2.9	▲ 32.4	2.9
サービス業	3.1	▲ 18.2	▲ 12.5	-15.6	3.1	15.6



3. 資金繰り

今期（4～6月）の資金繰りDI値は、全産業で▲11.6と前期と比べ改善した。

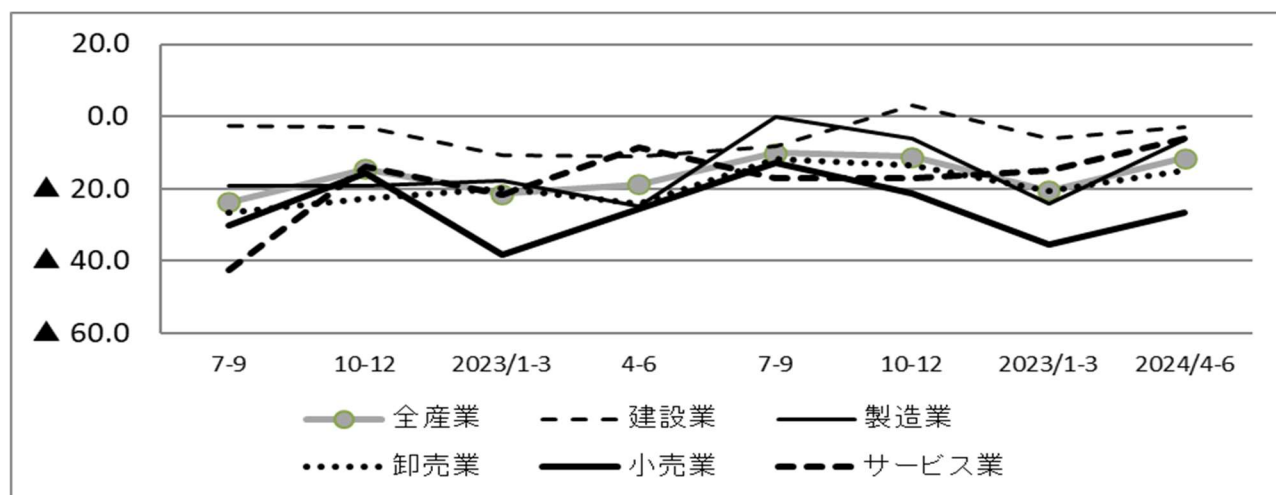
産業別では、全産業で改善し、特に製造業が17.6ポイントと大幅に改善した。

来期の見通し（7～9月）は、全産業で▲19.0と今期と比べ悪化を見通している。

産業別では、サービス業は大幅な悪化、製造業、建設業、小売業も悪化を見通している。

卸売業は横ばいを見通している。

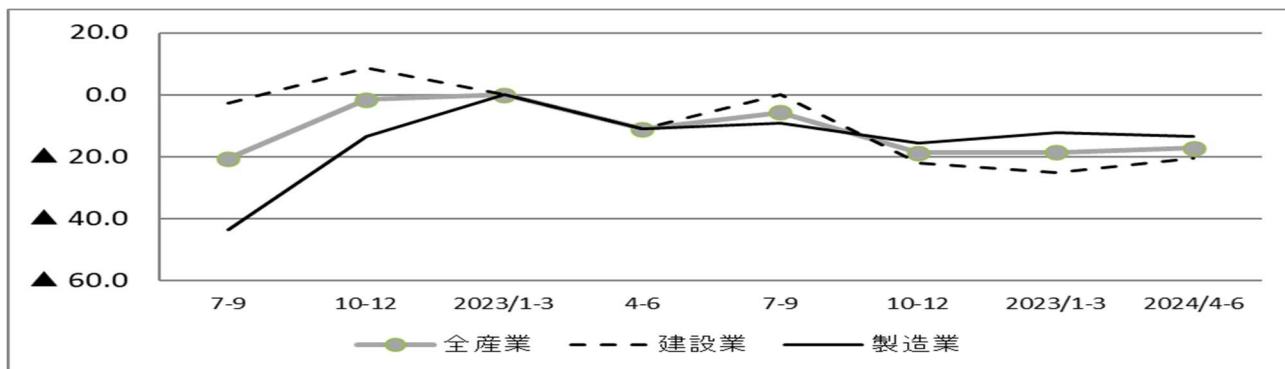
	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(7~9月) (D)	今期比 (D)-(C)
		(B)				
全産業	▲ 20.5	▲ 16.8	▲ 11.6	8.9	▲ 19.0	-7.4
建設業	▲ 6.3	0.0	▲ 2.9	3.4	▲ 8.8	-5.9
製造業	▲ 24.2	▲ 18.1	▲ 6.6	17.6	▲ 16.7	-10.1
卸売業	▲ 20.7	▲ 27.6	▲ 15.1	5.6	▲ 15.1	0.0
小売業	▲ 35.3	▲ 26.5	▲ 26.5	8.8	▲ 32.4	-5.9
サービス業	▲ 15.1	▲ 12.1	▲ 6.2	8.9	▲ 21.9	-15.7



4. 受注残（未消化工事高）

今期（4～6月）の受注残DI値は、全産業で▲17.2と前期と比べわずかながら改善した。産業別では、製造業がわずかながら悪化した一方、建設業は改善した。来期の見通し（7～9月）は、全産業で▲4.7と今期と比べ改善を見通している。産業別では、建設業が26.5ポイントと大幅な改善を見通す一方、製造業は悪化を見通している。

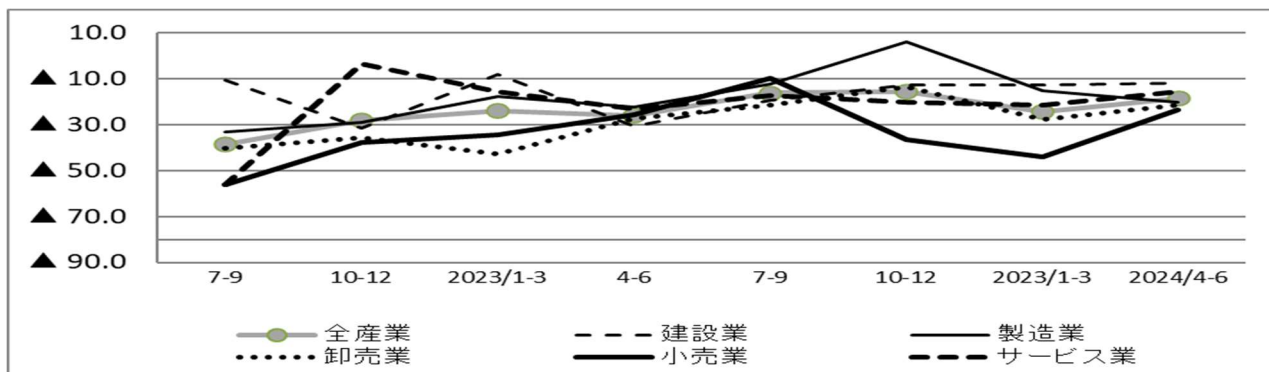
	前期(1-3月)		来期見通(4~6月) (B)	今期(4-6月)		
	(A)	(B)		(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(7~9月) (D)
全産業	▲ 18.5	▲ 10.8	▲ 17.2	1.3	▲ 4.7	12.5
建設業	▲ 25.0	▲ 6.3	▲ 20.6	4.4	5.9	26.5
製造業	▲ 12.1	▲ 15.1	▲ 13.3	-1.2	▲ 16.7	-3.4



5. 採算（経常利益）

今期（4～6月）の採算DI値は、全産業で▲18.4と前期と比べ改善した。産業別では、製造業が悪化した一方、小売業は大幅な改善、卸売業とサービス業も改善、建設業はわずかながら改善した。来期の見通し（7～9月）は、全産業で▲18.4と今期と横ばいを見通している。産業別では、小売業とサービス業が悪化を見通す一方、建設業、製造業、卸売業が改善を見通している。

	前期(1-3月)		来期見通(4~6月) (B)	今期(4-6月)		
	(A)	(B)		(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(7~9月) (D)
全産業	▲ 24.2	▲ 19.9	▲ 18.4	5.8	▲ 18.4	0.0
建設業	▲ 12.5	▲ 6.3	▲ 11.7	0.8	▲ 2.9	8.8
製造業	▲ 15.1	▲ 3.0	▲ 20.0	-4.9	▲ 13.3	6.7
卸売業	▲ 27.6	▲ 27.6	▲ 21.2	6.4	▲ 15.1	6.1
小売業	▲ 44.1	▲ 35.3	▲ 23.5	20.6	▲ 38.3	-14.8
サービス業	▲ 21.2	▲ 27.2	▲ 15.7	5.5	▲ 21.9	-6.2



6. 従業員（含む臨時）

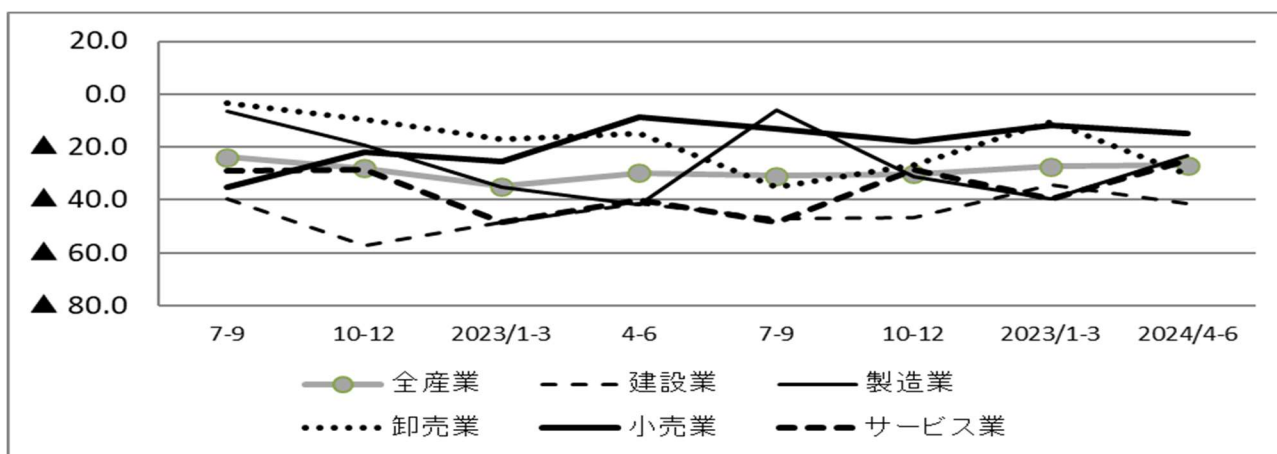
今期（4～6月）の従業員DI値は、全産業で▲27.0と前期と比べわずかながら不足感を縮小した。

産業別では、卸売業が大幅に不足感を拡大、建設業も不足感を拡大、小売業はわずかながら不足感を拡大した一方、製造業は大幅に不足感を縮小、サービス業も不足感を縮小した。

来期の見通し（7～9月）は、全産業で▲22.1と今期と比べ不足感の縮小を見通している。

産業別では、サービス業と製造業は不足感の縮小、建設業、卸売業、小売業もわずかながら不足感の縮小を見通している。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(7~9月)	今期比 (D)-(C)
		(B)			(D)	
全産業	▲ 27.3	▲ 28.0	▲ 27.0	0.3	▲ 22.1	4.9
建設業	▲ 34.3	▲ 40.6	▲ 41.2	-6.9	▲ 38.2	3.0
製造業	▲ 39.4	▲ 33.3	▲ 23.3	16.1	▲ 16.6	6.7
卸売業	▲ 10.4	▲ 17.2	▲ 30.3	-19.9	▲ 27.3	3.0
小売業	▲ 11.8	▲ 14.7	▲ 14.7	-2.9	▲ 11.7	3.0
サービス業	▲ 39.4	▲ 33.4	▲ 25.0	14.4	▲ 15.6	9.4



II. 産業別DI値

1. 建設業

今期（4～6月）のDI値は、業況が▲14.7と前期と比べわずかながら改善した。

項目別では、受注残、完成工事額、資金繰りが改善、採算もわずかながら改善した一方、従業員は不足感を拡大した。

企業からは、「今期は収益が望まれる工事の受注に恵まれていた」【一般土木建築工事業】とのコメントがあった。

来期の見通し（7～9月）は、業況が▲5.9と今期と比べ改善を見通している。

項目別では、資金繰りが悪化を見通す一方、受注残がプラス26.5ポイントと大幅な改善、完成工事額と採算も改善を見通している、従業員はわずかながら不足感の縮小を見通している。

企業からは「元請けからの工事単価アップが決定し、完成工事額・採算ともに好転する見込み」【一般電気工事業】、「完成工事は増加すると思うが、採算は世の中の情勢によるためわからない」【一般土木建築工事業】とのコメントがあった。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比	来期見通(7~9月)	
		(B)		(C)-(A)	(D)	今期比 (D)-(C)
業況	▲ 15.7	▲ 9.4	▲ 14.7	1.0	▲ 5.9	8.8
完成工事額	▲ 12.5	▲ 3.1	▲ 8.9	3.6	0.0	8.9
資金繰り	▲ 6.3	0.0	▲ 2.9	3.4	▲ 8.8	-5.9
受注残	▲ 25.0	▲ 6.3	▲ 20.6	4.4	5.9	26.5
採算(経常利益)	▲ 12.5	▲ 6.3	▲ 11.7	0.8	▲ 2.9	8.8
従業員(含む臨時)	▲ 34.3	▲ 40.6	▲ 41.2	-6.9	▲ 38.2	3.0

2. 製造業

今期(4~6月)のDI値は、業況が▲3.3と前期と比べ改善した。

項目別では、採算が悪化、受注残もわずかながら悪化した一方、資金繰りは大幅な改善、売上額もわずかながら改善した。従業員は大幅に不足感を縮小した。

企業からは、「価格上昇分の売上額は増えているが、コスト増加が厳しくなっている。現在状況は良くない」【水産物製造・卸売業】、「急激な物価上昇により事業計画の見直し、中止が続いている」【金属製品製造業】とのコメントがあった。

来期の見通し(7~9月)は、業況が▲6.6と今期と比べ悪化を見通している。

項目別では、資金繰りと受注残が悪化を見通す一方、採算と売上額は改善を見通している。従業員は不足感の縮小を見通している。

企業からは、「業況は前期と変わらずだが、先行きは見えてこない」【金属製品製造業】とのコメントがあった。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比	来期見通(7~9月)	
		(B)		(C)-(A)	(D)	今期比 (D)-(C)
業況	▲ 15.1	0.0	▲ 3.3	11.8	▲ 6.6	-3.3
売上額	▲ 12.1	▲ 12.1	▲ 10.0	2.1	▲ 6.6	3.4
資金繰り	▲ 24.2	▲ 18.1	▲ 6.6	17.6	▲ 16.7	-10.1
受注残	▲ 12.1	▲ 15.1	▲ 13.3	-1.2	▲ 16.7	-3.4
採算(経常利益)	▲ 15.1	▲ 3.0	▲ 20.0	-4.9	▲ 13.3	6.7
従業員(含む臨時)	▲ 39.4	▲ 33.3	▲ 23.3	16.1	▲ 16.6	6.7

3. 卸売業

今期(4~6月)のDI値は、業況が▲30.3と前期と比べ改善した。

項目別では、売上額がプラス23.6ポイントと大幅に改善、採算と資金繰りも改善した。従業員は大幅に不足感を拡大した。

企業からは、「前年度に比べ少々売上が下がったものの、採算ラインで落ち着いている。物価高により消費が低迷しているため、現状の営業方式では売上の積上げが難しい」【青果・水産物卸】とのコメントがあった。

来期の見通し(7~9月)は、業況が▲18.2と今期と比べ改善を見通している。

項目別では、売上額はプラス18.1ポイントと大幅な改善、採算も改善を見通す一方、資金繰りは横ばいを見通している。従業員はわずかながら不足感の縮小を見通している。

企業からは「6月から改善の兆しが見られる。お盆の期間の売れ行き次第である。しかし65歳を超えた従業員が数名退職予定で、補充の見通しが立っていない。電気代値上げも不安要素である」【青果・水産物卸】とのコメントがあった。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比	来期見通(7~9月)	今期比 (D)-(C)
		(B)		(C)-(A)	(D)	
業況	▲ 39.3	▲ 41.4	▲ 30.3	9.0	▲ 18.2	12.1
売上額	▲ 44.8	▲ 20.7	▲ 21.2	23.6	▲ 3.1	18.1
資金繰り	▲ 20.7	▲ 27.6	▲ 15.1	5.6	▲ 15.1	0.0
採算(経常利益)	▲ 27.6	▲ 27.6	▲ 21.2	6.4	▲ 15.1	6.1
従業員(含む臨時)	▲ 10.4	▲ 17.2	▲ 30.3	-19.9	▲ 27.3	3.0

4. 小売業

今期(4~6月)のDI値は、業況が▲32.3と前期と比べ改善した。

項目別では、採算が大幅に改善、資金繰りも改善、売上額はわずかながら改善した。従業員はわずかながら不足感を拡大した。

企業からは、「日々高騰する原材料や電気料金をはじめとする光熱費、人件費による負担で赤字であるのに生活費の負担が増えているので財布のひもは固く売上が低迷している」【自動車部分品・附属品小売業】とのコメントがあった。

来期の見通し(7~9月)は、業況が▲38.3と今期と比べ悪化を見通している。

項目別では、採算と資金繰りは悪化を見通す一方、売上額はわずかながら改善を見通している。従業員はわずかながら不足感の拡大を見通している。

企業からは、「季節がら帰省客による売上増、また猛暑による売上も期待できる」【菓子製造小売】とのコメントがあった。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比	来期見通(7~9月)	今期比 (D)-(C)
		(B)		(C)-(A)	(D)	
業況	▲ 44.1	▲ 38.3	▲ 32.3	11.8	▲ 38.3	-6.0
売上額	▲ 38.2	▲ 32.4	▲ 35.3	2.9	▲ 32.4	2.9
資金繰り	▲ 35.3	▲ 26.5	▲ 26.5	8.8	▲ 32.4	-5.9
採算(経常利益)	▲ 44.1	▲ 35.3	▲ 23.5	20.6	▲ 38.3	-14.8
従業員(含む臨時)	▲ 11.8	▲ 14.7	▲ 14.7	-2.9	▲ 11.7	3.0

5. サービス業

今期(4~6月)のDI値は、業況が▲6.3と前期と比べ悪化した。

項目別では、売上額は大幅な悪化を見通す一方、資金繰りと採算は改善した。従業員は不足感を縮小した。

企業からは、「人手不足により、注文を捌ききれず、お断りする状況が続いている」、「コロナの終息で伸びてはいるが、物価高もありコロナ前には完全には戻ってはいない」【ホテル業】とのコメントがあった。

来期の見通し(7~9月)は、業況が▲9.4と今期と比べ悪化を見通している。

項目別では、資金繰りが大幅な悪化、採算も悪化を見通す一方、売上額は大幅な改善を見通している。従業員は不足感を縮小している。

企業からは「物価高で外食産業はこれから悪くなる一方だと感じる。特に宴会は大きい会場の需要がなくなっていると思われる」【ホテル業】、「値上げ要請は行っているが回答を得られていない状況は継続中。採用(中途)も見込めずにいる」【港湾運送業】とのコメントがあった。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比	来期見通(7~9月)	今期比 (D)-(C)
		(B)		(C)-(A)	(D)	
業況	▲ 3.0	▲ 18.1	▲ 6.3	-3.3	▲ 9.4	-3.1
売上額	3.1	▲ 18.2	▲ 12.5	-15.6	3.1	15.6
資金繰り	▲ 15.1	▲ 12.1	▲ 6.2	8.9	▲ 21.9	-15.7
採算(経常利益)	▲ 21.2	▲ 27.2	▲ 15.7	5.5	▲ 21.9	-6.2
従業員(含む臨時)	▲ 39.4	▲ 33.4	▲ 25.0	14.4	▲ 15.6	9.4

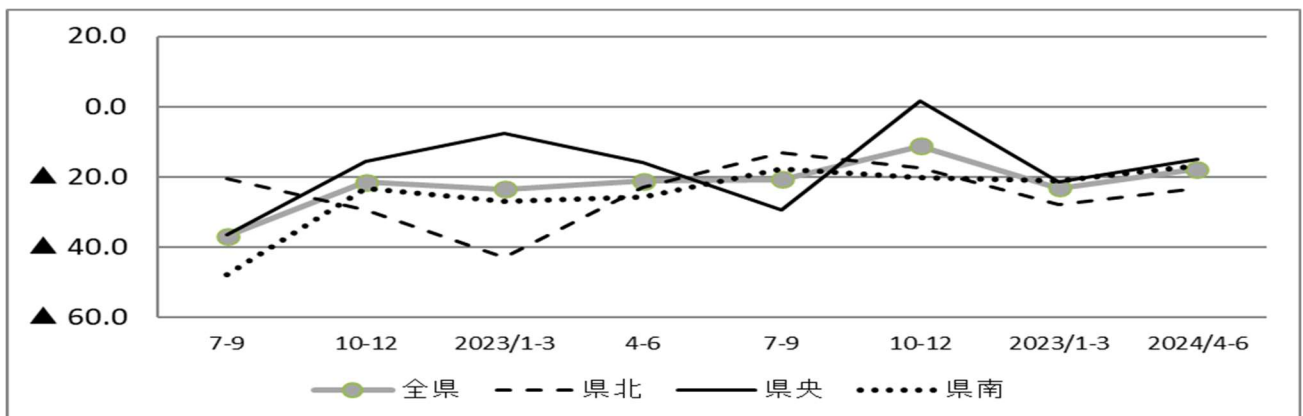
Ⅲ. 地域別DI値

1. 業況

今期(4~6月)のDI値は、前期と比べ全ての地域において改善した。

来期の見通し(7~9月)は、今期と比べ県央がわずかながら悪化を見通す一方、県北は改善、県南もわずかながら改善を見通している。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比	来期見通(7~9月)	今期比 (D)-(C)
		(B)		(C)-(A)	(D)	
全 県	▲ 23.1	▲ 21.2	▲ 17.8	5.3	▲ 16.0	1.8
県 北	▲ 27.9	▲ 20.9	▲ 23.2	4.7	▲ 16.3	6.9
県 央	▲ 21.5	▲ 23.1	▲ 15.0	6.5	▲ 16.6	-1.6
県 南	▲ 21.2	▲ 18.9	▲ 16.7	4.5	▲ 15.0	1.7

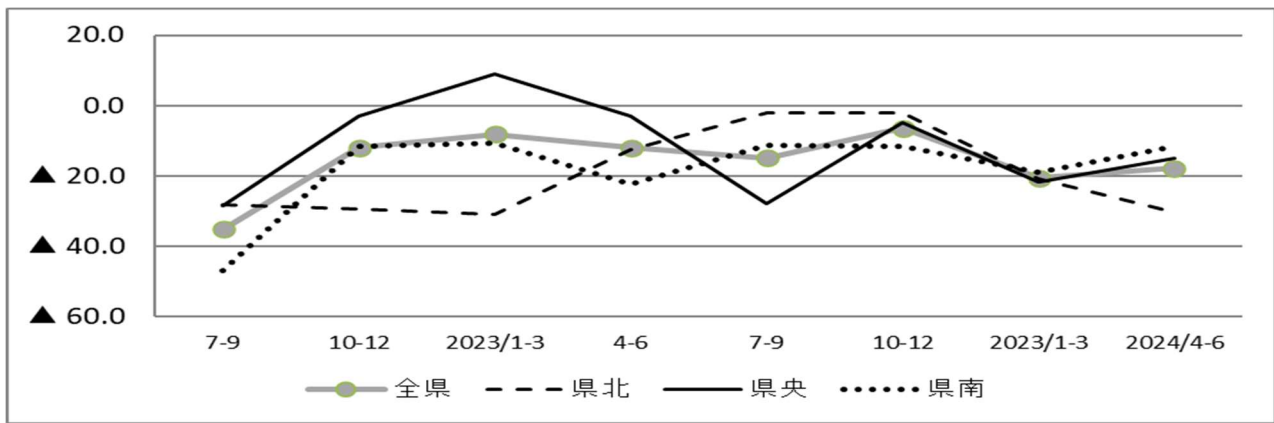


2. 売上額・完成工事額

今期(4~6月)のDI値は、前期と比べ県北が悪化、県南と県央は改善した。

来期の見通し(7~9月)は、今期と比べ全ての地域で改善を見通している。特に県北は16.3ポイントと大幅な改善を見通している。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比	来期見通(7~9月)	今期比 (D)-(C)
		(B)		(C)-(A)	(D)	
全 県	▲ 20.5	▲ 17.4	▲ 17.8	2.7	▲ 8.0	9.8
県 北	▲ 20.9	▲ 16.3	▲ 30.2	-9.3	▲ 13.9	16.3
県 央	▲ 21.6	▲ 21.5	▲ 15.0	6.6	▲ 10.0	5.0
県 南	▲ 18.8	▲ 13.2	▲ 11.7	7.1	▲ 1.7	10.0

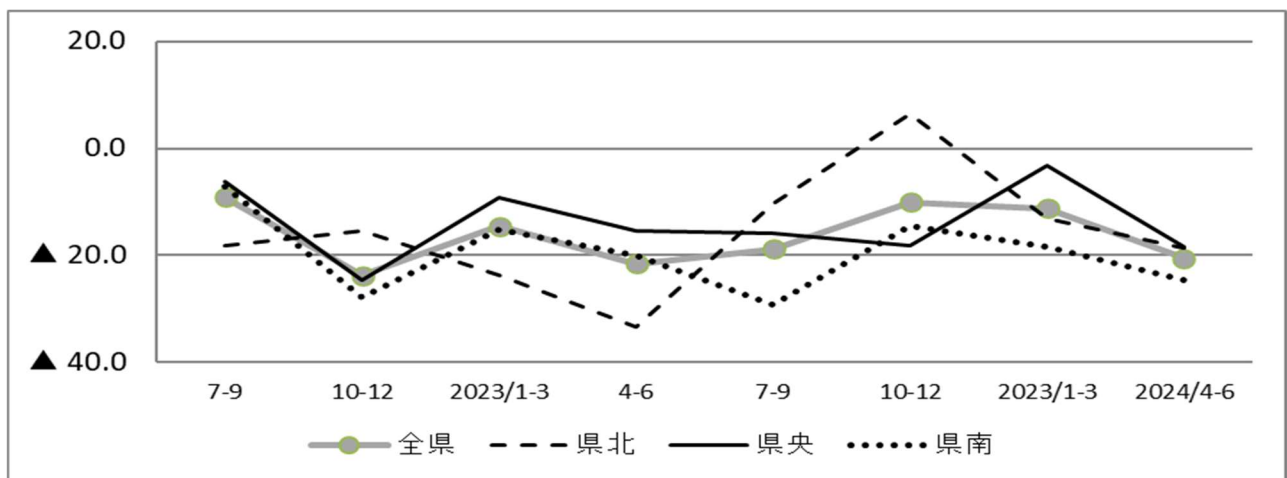


3. 資金繰り

今期（4～6月）のDI値は、前期と比べ全ての地域で改善した。

来期の見通し（7～9月）は、今期と比べ県北と県央は悪化、県南もわずかながら悪化を見通している。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通(4-6月) (B)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(7-9月) (D)	今期比 (D)-(C)
全県	▲ 20.5	▲ 16.8	▲ 11.6	8.9	▲ 19.0	-7.4
県北	▲ 18.6	▲ 21.0	▲ 14.0	4.6	▲ 27.9	-13.9
県央	▲ 18.4	▲ 15.4	▲ 8.3	10.1	▲ 16.6	-8.3
県南	▲ 24.5	▲ 15.1	▲ 13.4	11.1	▲ 15.0	-1.6

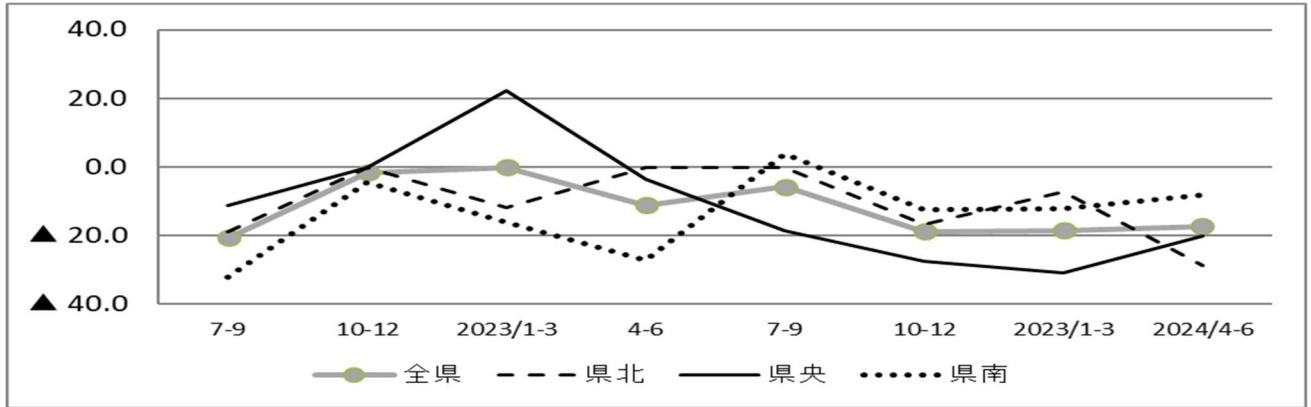


4. 受注残（未消化工事高）

今期（4～6月）のDI値は、前期と比べ県北が▲21.5ポイントと大幅に悪化した一方、県央と県南は改善した。

来期の見通し（7～9月）は、今期と比べ県北が42.9ポイントと大幅に改善、県央も改善を見通す一方、県南は横ばいを見通している。

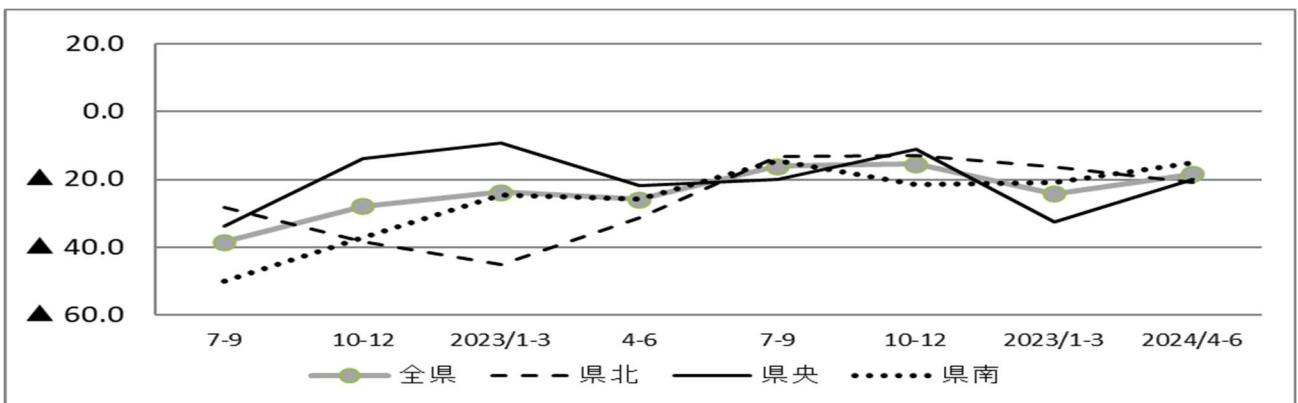
	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通(4-6月) (B)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(7-9月) (D)	今期比 (D)-(C)
全県	▲ 18.5	▲ 10.8	▲ 17.2	1.3	▲ 4.7	12.5
県北	▲ 7.1	▲ 14.3	▲ 28.6	-21.5	14.3	42.9
県央	▲ 30.8	▲ 19.2	▲ 20.0	10.8	▲ 12.0	8.0
県南	▲ 12.0	0.0	▲ 8.0	4.0	▲ 8.0	0.0



5. 採算（経常利益）

今期（4～6月）のDI値は、前期と比べ県北が悪化した一方、県央と県南は改善した。
 来期の見通し（7～9月）は、今期と比べ県北は悪化を見通す一方、県央は改善、県南もわずかながら改善を見通している。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通(4~6月)(B)	(C)	前期比(C)-(A)	来期見通(7~9月)(D)	今期比(D)-(C)
全県	▲ 24.2	▲ 19.9	▲ 18.4	5.8	▲ 18.4	0.0
県北	▲ 16.3	▲ 11.6	▲ 20.9	-4.6	▲ 27.9	-7.0
県央	▲ 32.4	▲ 24.6	▲ 20.0	12.4	▲ 16.7	3.3
県南	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 15.0	5.8	▲ 13.3	1.7

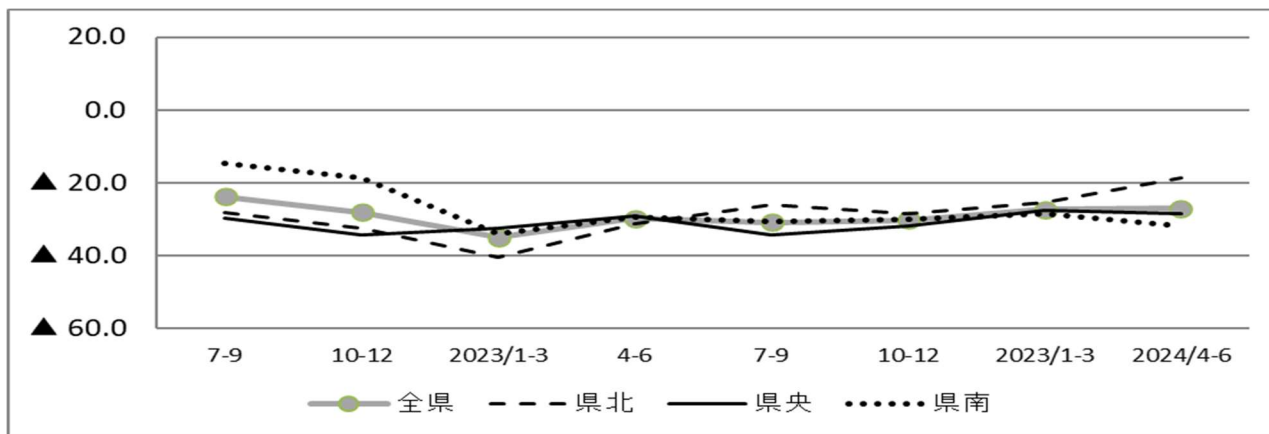


6. 従業員（含む臨時）

今期（4～6月）のDI値は、前期と比べ県南は不足感を拡大、県央もわずかながら不足感を拡大した一方、県北は不足感を縮小した。

来期の見通し（7～9月）は、今期と比べ県央と県南は不足感の縮小、県北もわずかながら不足感の縮小を見通している。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通(4~6月)(B)	(C)	前期比(C)-(A)	来期見通(7~9月)(D)	今期比(D)-(C)
全県	▲ 27.3	▲ 28.0	▲ 27.0	0.3	▲ 22.1	4.9
県北	▲ 25.5	▲ 27.9	▲ 18.6	6.9	▲ 16.3	2.3
県央	▲ 27.6	▲ 29.2	▲ 28.4	-0.8	▲ 21.6	6.8
県南	▲ 28.3	▲ 26.4	▲ 31.7	-3.4	▲ 26.6	5.1



IV. 産業別設備投資

全産業における今期（4～6月）の設備投資については、「実施した」とする企業は、57件と前期と比べ2件減少となった。

産業別では、「実施した」とする中で最も多かったのは、製造業（15件）、次いでサービス業（14件）、建設業（11件）の順となっている。

全産業で、設備投資内容の最も多かったのは、「車両・運搬具」（21件）、次いで「建物・工場・店舗」「機械・設備・倉庫」「OA機器」（14件）、「付帯施設」（9件）の順となっている。

来期（7～9月）の計画では、全産業で「計画している」としたのは51件で、今期と比べ6件減少している。

産業別では、「計画している」とした中で最も多かったのは、製造業（13件）、次いでサービス業（12件）、建設業（11件）の順となっている。

全産業で、設備投資内容の最も多かったのは「車両・運搬具」（20件）、次いで「OA機器」（18件）、「付帯施設」（12件）の順となっている。

設備投資状況

(件数)

	前期(1-3月)				今期(4-6月)					
	実施した (A)	実施しない	来期見通(4~6月)		実施した (C)	実施しない	前期比 (C-A)	来期見通(7~9月)		
			計画している (B)	計画していない				計画している (D)	計画していない	今期比 (D-C)
全産業	59	102	48	112	57	105	▲2	51	112	▲6
建設業	18	14	9	23	11	23	▲7	11	23	0
製造業	17	16	11	22	15	15	▲2	13	17	▲2
卸売業	7	22	8	21	9	24	2	9	24	0
小売業	5	29	7	27	8	26	3	6	28	▲2
サービス業	12	21	13	19	14	17	2	12	20	▲2

設備内容(複数回答)

(件数)

	全産業		建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
①土地	5	3	3	1	0	0	0	0	1	0	1	2
②建物・工場・店舗	14	6	2	2	6	1	0	0	1	1	5	2
③機械・設備・倉庫	14	8	2	1	6	5	0	0	2	0	4	2
④車両・運搬具	21	20	6	6	2	4	6	4	3	4	4	2
⑤付帯施設	9	12	1	2	2	3	3	2	2	2	1	3
⑥OA機器	14	18	4	5	1	2	1	4	3	0	5	7
⑦福利厚生施設	0	4	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
⑧その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	77	71	18	18	17	15	10	10	12	8	20	20

V. 地域別設備投資

今期（4～6月）の設備投資について、「実施した」企業は、前期と比べ県北と県央が減少し、県南は増加した。

設備投資で最も多いのは、県北が「機械・設備・倉庫」（5件）、県央が「車両・運搬具」（11件）、県南も「車両・運搬具」（6件）となった。

来期（7～9月）の設備投資について、「計画している」企業は、今期と比べ県北・県央・県南ともに減少を見通している。

「計画している」企業の設備内容で最も多かったのは、県北が「OA機器」（4件）、県央が「車両・運搬具」（10件）、県南も「車両・運搬具」（7件）となっている。

設備投資状況

(件数)

	前期(1-3月)				今期(4-6月)						
	実施した (A)	実施しない	来期見通(4~6月)		実施した (C)	実施しない	前期比 (C-A)	来期見通(7~9月)			
			計画している (B)	計画していない				計画している (D)	計画していない	今期比 (D-C)	
全体	59	102	48	112	57	105	▲2	51	112	▲6	
県北	19	24	15	28	16	26	▲3	12	31	▲4	
県央	26	39	24	41	22	38	▲4	21	39	▲1	
県南	14	39	9	43	19	41	5	18	42	▲1	

設備内容（複数回答）

(件数)

	全県		県北		県央		県南	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
①土地	5	3	1	0	2	1	2	2
②建物・工場・店舗	14	6	4	2	5	1	5	3
③機械・設備・倉庫	14	8	5	1	6	4	3	3
④車両・運搬具	21	20	4	3	11	10	6	7
⑤付帯施設	9	12	1	2	6	7	2	3
⑥OA機器	14	18	3	4	6	8	5	6
⑦福利厚生施設	0	4	0	1	0	3	0	0
⑧その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	77	71	18	13	36	34	23	24

VI. 経営上の問題点

産業別における「経営上の問題点」は、建設業が「従業員の確保難」、製造業が「需要の停滞」、卸売業と小売業が「仕入単価の上昇」、サービス業が「人件費の増加」を第1位に挙げている。

2位以下の項目では、建設業が「熟練技術者の確保難」「下請業者の確保難」、製造業が「原材料価格の上昇」「生産設備の不足・老朽化」、卸売業が「販売単価の低下・上昇難」、小売業とサービス業が「人件費以外の経費の増加」、小売業が「従業員の確保難」、サービス業が「材料等仕入単価の上昇」を問題点として挙げており、熟練技術者不足や人材確保、需要停滞、物価高騰、物価高による材料費などの仕入単価上昇の対応等が経営課題となっていることが窺える。

	1位		2位		3位	
建設業	従業員の確保難		熟練技術者の確保難		下請業者の確保難	
	30.3%	10件	34.4%	11件	16.7%	5件
製造業	需要の停滞		原材料価格の上昇		生産設備の不足・老朽化	
	29.6%	8件	29.6%	8件	16.0%	4件
卸売業	仕入単価の上昇		仕入単価の上昇		販売単価の低下・上昇難	
	42.4%	14件	30.3%	10件	24.0%	6件
小売業	仕入単価の上昇		人件費以外の経費の増加		従業員の確保難	
	24.2%	8件	15.6%	4件	20.7%	6件
サービス業	人件費の増加		人件費以外の経費の増加		材料等仕入単価の上昇	
	20.0%	6件	25.0%	7件	20.0%	5件

※ %は1位、2位、3位それぞれの回答数(=100%)の割合を示したものの。

参考:1~3位を累計した場合

	1位		2位		3位	
建設業	熟練技術者の確保難		材料価格の上昇		従業員の確保難	
	20.0%	19件	17.9%	17件	16.8%	16件
製造業	原材料価格の上昇		需要の停滞		人件費の増加	
	22.5%	18件	17.5%	14件	10.0%	8件
卸売業	仕入単価の上昇		需要の停滞		従業員の確保難	
	29.7%	27件	17.6%	16件	14.3%	13件
小売業	仕入単価の上昇		需要の停滞 従業員の確保難		人件費以外の経費の増加	
	14.9%	14件	11.7%	11件	10.6%	10件
サービス業	材料等仕入単価の上昇		人件費以外の経費の増加		従業員の確保難	
	18.1%	15件	15.7%	13件	14.5%	12件

※ %は1~3位までの総回答数(=100%)の割合を示したものの。

【付帯調査】◎デジタル化に関する調査

- VII. 社内業務のデジタル化に関する取組について ※（）内は2023年4～6月期調査時の割合
 ・社内業務のデジタル化に関する取組について聞いたところ、回答のあった163社中、①「既に取り組んでいる」が72社44.2%（29.1%）、③「取り組む予定はない」が48社29.4%（22.3%）、②「今後取り組む予定」が43社26.4%（48.6%）の順となった。

選 択 肢	件数	構成比	前回構成比
① 既に取り組んでいる	72	44.2%	29.1%
② 今後取り組む予定	43	26.4%	48.6%
③ 取り組む予定はない	48	29.4%	22.3%
合 計	163	100.0%	100.0%

- VIII. 社内業務のデジタル化を進めるための課題について（複数回答） ※（）は2023年4～6月期調査時の割合

- ・社内業務のデジタル化を進めるための課題について聞いたところ、①「社内に詳しい人材がない」と②「社内のシステム戦略が整備されていない」がどちらも50件30.7%（19.9%、12.5%）、⑤「他の業務が優先され先送りしている」が42件25.8%（14.5%）、⑭「特になし」が33件20.2%（0.0%）の順となった。

選 択 肢	件数	構成比	前回構成比
① 社内に詳しい人材がない	50	30.7%	19.9%
② 社内のシステム戦略が整備されていない	50	30.7%	12.5%
③ 社内に複数のシステムが存在し、連携していない	18	11.0%	9.8%
④ 自社の業務に合ったシステムが見つからない	19	11.7%	9.8%
⑤ 他の業務が優先され先送りしている	42	25.8%	14.5%
⑥ 導入効果がわからない	24	14.7%	11.0%
⑦ 導入資金がない	17	10.4%	4.5%
⑧ 導入に対する支援制度がない	7	4.3%	4.5%
⑨ 導入する必要性を感じない	18	11.0%	5.6%
⑩ 導入したが使いこなせていない	8	4.9%	1.2%
⑪ 何から手をつけるべきかわからない	14	8.6%	3.3%
⑫ ITに関して相談できる相手がない	4	2.5%	2.4%
⑬ その他	5	2.4%	1.2%
⑭ 特になし	33	20.2%	0.0%

○その他のコメント

<建設業>

- ・逆に手間がかかると思う（一般電気工事業）

<製造業>

- ・社内に詳しい人が数人いるので、現在 DX 人材を養成中である（清酒製造業）
- ・課題が明確になっていない。手探りで試みている（金属製品製造業）

<卸売業>

- ・社内での共有不足（工具、金具）

<小売業>

- ・製造小売なのでデジタル化を必要としていない（菓子製造販売）

<サービス業>

- ・OBD システムや OBD 検査の事前準備（自動車整備）

IX. デジタル化に関する課題はどちらへ相談するか

- ・社内業務のデジタル化を進めるための課題についてどちらへ相談するかを聞いたところ、
④「商工会議所」が 28 社 17.2%、①「IT ベンダー」が 24 社 14.7%、②「税理士・公認会計士」が 23 社 14.1%の順となった。

選 択 肢	件数	構成比
① IT ベンダー	24	14.7%
② 税理士・公認会計士	23	14.1%
③ コンサルタント	8	4.9%
④ 商工会議所	28	17.2%
⑤ 秋田県よろず支援拠点	2	1.2%
⑥ （一社）秋田県情報産業協会	1	0.6%
⑦ 秋田県ほか地方自治体	0	0.0%
⑧ 経営者仲間	13	8.0%
⑨ その他	64	39.3%
合 計	163	100%

○その他のコメント

<製造業>

- ・未定である（漬物製造）

<卸売業>

- ・取引先の商工業者（塗料、塗装器具他）

<卸売業>

- ・本社で行っている（衣類販売）
- ・ソフト会社をお願いをしている（燃料販売）

<サービス業>

- ・社内でも取り組んでいる（ソフト開発等）
- ・自動車整備振興会をお願いをしている（自動車整備）
- ・自社内で取り組んでいる（ソフトウェア開発）

X. デジタル化に関して相談を検討している内容について（複数回答）

- ・デジタル化に関して相談したい内容を聞いたところ、①「補助金の活用」が40社24.5%、②「Web・SNSによる集客」が19社11.7%、④「決済処理・経理・財務・会計」が15社9.2%の順となった。

選 択 肢	件数	構成比
① 補助金の活用	40	24.5%
② Web・SNSによる集客	19	11.7%
③ HPやEC（ネットショップ）サイト構築・運用改善等	10	6.1%
④ 決済処理・経理・財務・会計	15	9.2%
⑤ 給与・労務管理	13	8.0%
⑥ テレワーク・Web会議システム	1	0.6%
⑦ SEO対策によるHPのアクセス向上	1	0.6%
⑧ 営業・顧客管理・データ管理	13	8.0%
⑨ 生産・販売管理	11	6.7%
⑩ セキュリティ対策	5	3.1%
⑪ インボイス制度への対策	8	4.9%
⑫ 電子帳簿保存法への対応	12	7.4%
⑬ その他	95	58.3%

○その他のコメント

＜製造業＞

- ・今のところは考えていない（住宅建築設計）

＜製造業＞

- ・進行中である。問題課題を手探りで探っている状況（金属製品製造業）

XI. デジタル化に関する課題や要望等について（自由記入）

＜建設業＞

- ・現場工程や積算（出来高等）、省エネ等について（一般土木建築工事業）
- ・DX推進について単にデジタル化するだけでは意味がないと思う。生産性や利益向上に結び付く戦略をどうするかが問題である（総合建設業）
- ・総合窓口的な相談先が欲しい（建築工事）

＜小売業＞

- ・契約しているシステム保守の会社に指導を仰いでいる状況。実際は五里霧中の状態である（茶類小売業）
- ・自分自身を含めデジタル化に関する知見が欲しいところである（自動車部分品・附属品小売業）

＜サービス業＞

- ・後継ぎがないため、前進することができない（普通洗濯業）
- ・コロナ前はいろいろ計画をしていたが（フロントロボットなど）、コロナですべて白紙になってしまった。必要最低限のものと高額なものは避ける傾向になっている（ホテル業）

総括表

秋田県内中小企業景況調査
全産業別景気判断比較表 (DI値)
(第4四半期:2024年4月~6月)

(▲マイナス)

	業況						売上額・完成工事額						資金繰り							
	前期(1-3月)		今期(4-6月)		来期見通(4~6月)		前期(1-3月)		今期(4-6月)		来期見通(4~6月)		前期(1-3月)		今期(4-6月)		来期見通(4~6月)			
	(A)	(B)	(C)	(D)	(A)	(B)	(C)	(D)	(A)	(B)	(C)	(D)	(A)	(B)	(C)	(D)	(A)	(B)	(C)	(D)
全産業	▲ 23.1	▲ 21.2	▲ 17.8	▲ 16.0	1.8	▲ 20.5	▲ 17.4	▲ 17.8	2.7	▲ 8.0	9.8	▲ 20.5	▲ 16.8	▲ 11.6	▲ 19.0	8.9	▲ 19.0	▲ 11.6	▲ 19.0	-7.4
建設業	▲ 15.7	▲ 9.4	▲ 14.7	▲ 5.9	8.8	▲ 12.5	▲ 3.1	▲ 8.9	3.6	0.0	8.9	▲ 6.3	0.0	▲ 2.9	▲ 8.8	3.4	▲ 8.8	▲ 2.9	▲ 8.8	-5.9
製造業	▲ 15.1	0.0	▲ 3.3	▲ 6.6	-3.3	▲ 12.1	▲ 12.1	▲ 10.0	2.1	▲ 6.6	3.4	▲ 24.2	▲ 18.1	▲ 6.6	▲ 16.7	17.6	▲ 16.7	▲ 6.6	▲ 16.7	-10.1
卸売業	▲ 39.3	▲ 41.4	▲ 30.3	▲ 18.2	12.1	▲ 44.8	▲ 20.7	▲ 21.2	23.6	▲ 3.1	18.1	▲ 20.7	▲ 27.6	▲ 15.1	▲ 15.1	5.6	▲ 15.1	▲ 15.1	▲ 15.1	0.0
小売業	▲ 44.1	▲ 38.3	▲ 32.3	▲ 38.3	-6.0	▲ 38.2	▲ 32.4	▲ 35.3	2.9	▲ 32.4	2.9	▲ 35.3	▲ 26.5	▲ 26.5	▲ 32.4	8.8	▲ 32.4	▲ 26.5	▲ 26.5	-5.9
サービス業	▲ 3.0	▲ 18.1	▲ 6.3	▲ 9.4	-3.1	3.1	▲ 18.2	▲ 12.5	-15.6	3.1	15.6	▲ 15.1	▲ 12.1	▲ 6.2	▲ 21.9	8.9	▲ 21.9	▲ 6.2	▲ 6.2	-15.7

	受注残(未消化工事高)						採算(経常利益)						従業員(含む臨時)								
	前期(1-3月)		今期(4-6月)		来期見通(4~6月)		前期(1-3月)		今期(4-6月)		来期見通(4~6月)		前期(1-3月)		今期(4-6月)		来期見通(4~6月)				
	(A)	(B)	(C)	(D)	(A)	(B)	(C)	(D)	(A)	(B)	(C)	(D)	(A)	(B)	(C)	(D)	(A)	(B)	(C)	(D)	
全産業	▲ 18.5	▲ 10.8	▲ 17.2	1.3	▲ 4.7	12.5	▲ 24.2	▲ 19.9	▲ 18.4	5.8	▲ 18.4	0.0	▲ 27.3	▲ 28.0	▲ 27.0	0.3	▲ 22.1	▲ 28.0	▲ 27.0	▲ 22.1	4.9
建設業	▲ 25.0	▲ 6.3	▲ 20.6	4.4	5.9	26.5	▲ 12.5	▲ 6.3	▲ 11.7	0.8	▲ 2.9	8.8	▲ 34.3	▲ 40.6	▲ 41.2	-6.9	▲ 38.2	▲ 40.6	▲ 41.2	▲ 38.2	3.0
製造業	▲ 12.1	▲ 15.1	▲ 13.3	-1.2	▲ 16.7	-3.4	▲ 15.1	▲ 3.0	▲ 20.0	-4.9	▲ 13.3	6.7	▲ 39.4	▲ 33.3	▲ 23.3	16.1	▲ 16.6	▲ 33.3	▲ 23.3	▲ 16.6	6.7
卸売業	—	—	—	—	—	—	▲ 27.6	▲ 27.6	▲ 21.2	6.4	▲ 15.1	6.1	▲ 10.4	▲ 17.2	▲ 30.3	-19.9	▲ 27.3	▲ 17.2	▲ 30.3	▲ 27.3	3.0
小売業	—	—	—	—	—	—	▲ 44.1	▲ 35.3	▲ 23.5	20.6	▲ 38.3	-14.8	▲ 11.8	▲ 14.7	▲ 14.7	-2.9	▲ 11.7	▲ 14.7	▲ 14.7	▲ 11.7	3.0
サービス業	—	—	—	—	—	—	▲ 21.2	▲ 27.2	▲ 15.7	5.5	▲ 21.9	-6.2	▲ 39.4	▲ 33.4	▲ 25.0	14.4	▲ 15.6	▲ 33.4	▲ 25.0	▲ 15.6	9.4

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

:従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果(業種別比較表)

(第4四半期：2024年4月～6月)

1. 今期の状況

業種	項目	業況			売上額・完成工事額			資金繰り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全産業	実数	17	100	46	30	74	59	13	118	32	6	41	17	21	91	51	11	97	55
	%	10.4	61.3	28.2	18.4	45.4	36.2	8.0	72.4	19.6	9.4	64.1	26.6	12.9	55.8	31.3	6.7	59.5	33.7
	DI	▲ 17.8			▲ 17.8			▲ 11.6			▲ 17.2			▲ 18.4			▲ 27.0		
建設業	実数	4	21	9	6	19	9	4	25	5	4	19	11	4	22	8	1	18	15
	%	11.8	61.8	26.5	17.6	55.9	26.5	11.8	73.5	14.7	11.8	55.9	32.4	11.8	64.7	23.5	2.9	52.9	44.1
	DI	▲ 14.7			▲ 8.9			▲ 2.9			▲ 20.6			▲ 11.7			▲ 41.2		
製造業	実数	2	25	3	8	11	11	2	24	4	2	22	6	2	20	8	2	19	9
	%	6.7	83.3	10.0	26.7	36.7	36.7	6.7	80.0	13.3	6.7	73.3	20.0	6.7	66.7	26.7	6.7	63.3	30.0
	DI	▲ 3.3			▲ 10.0			▲ 6.6			▲ 13.3			▲ 20.0			▲ 23.3		
卸売業	実数	4	15	14	6	14	13	3	22	8	6	14	13	6	14	13	3	17	13
	%	12.1	45.5	42.4	18.2	42.4	39.4	9.1	66.7	24.2	18.2	42.4	39.4	18.2	42.4	39.4	9.1	51.5	39.4
	DI	▲ 30.3			▲ 21.2			▲ 15.1			▲ 21.2			▲ 21.2			▲ 30.3		
小売業	実数	2	19	13	4	14	16	2	21	11	4	14	16	4	18	12	3	23	8
	%	5.9	55.9	38.2	11.8	41.2	47.1	5.9	61.8	32.4	11.8	41.2	47.1	11.8	52.9	35.3	8.8	67.6	23.5
	DI	▲ 32.3			▲ 35.3			▲ 26.5			▲ 23.5			▲ 23.5			▲ 14.7		
サービス業	実数	5	20	7	6	16	10	2	26	4	6	16	10	5	17	10	2	20	10
	%	15.6	62.5	21.9	18.8	50.0	31.3	6.3	81.3	12.5	18.8	50.0	31.3	15.6	53.1	31.3	6.3	62.5	31.3
	DI	▲ 6.3			▲ 12.5			▲ 6.2			▲ 6.2			▲ 15.7			▲ 25.0		

※ DI値：「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。
 : 従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果(業種別比較表)

(第4四半期：2024年4月～6月)

2. 来期の見通し

業種	項目	業況			売上額・完成工事額			資金繰り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全産業	実数	17	103	43	32	86	45	8	116	39	8	45	11	17	99	47	11	105	47
	%	10.4	63.2	26.4	19.6	52.8	27.6	12.5	71.2	23.9	12.5	70.3	17.2	10.4	60.7	28.8	6.7	64.4	28.8
	DI	▲ 16.0			▲ 8.0			▲ 19.0			▲ 4.7			▲ 18.4			▲ 22.1		
建設業	実数	5	22	7	7	20	7	7	27	5	7	22	5	5	23	6	2	17	15
	%	14.7	64.7	20.6	20.6	58.8	20.6	20.6	79.4	14.7	20.6	64.7	14.7	14.7	67.6	17.6	5.9	50.0	44.1
	DI	▲ 5.9			0.0			▲ 8.8			5.9			▲ 2.9			▲ 38.2		
製造業	実数	2	24	4	5	18	7	1	23	6	1	23	6	3	20	7	2	21	7
	%	6.7	80.0	13.3	16.7	60.0	23.3	3.3	76.7	20.0	3.3	76.7	20.0	10.0	66.7	23.3	6.7	70.0	23.3
	DI	▲ 6.6			▲ 6.6			▲ 16.7			▲ 16.7			▲ 13.3			▲ 16.6		
卸売業	実数	4	19	10	8	16	9	3	22	8	3	22	8	5	18	10	3	18	12
	%	12.1	57.6	30.3	24.2	48.5	27.3	9.1	66.7	24.2	24.2	48.5	27.3	15.2	54.5	30.3	9.1	54.5	36.4
	DI	▲ 18.2			▲ 3.1			▲ 15.1			▲ 15.1			▲ 15.1			▲ 27.3		
小売業	実数	1	19	14	3	17	14	1	21	12	1	21	12	1	19	14	2	26	6
	%	2.9	55.9	41.2	8.8	50.0	41.2	2.9	61.8	35.3	8.8	50.0	41.2	2.9	55.9	41.2	5.9	76.5	17.6
	DI	▲ 38.3			▲ 32.4			▲ 32.4			▲ 32.4			▲ 38.3			▲ 11.7		
サービス業	実数	5	19	8	9	15	8	1	23	8	1	23	8	3	19	10	2	23	7
	%	15.6	59.4	25.0	28.1	46.9	25.0	3.1	71.9	25.0	28.1	46.9	25.0	9.4	59.4	31.3	6.3	71.9	21.9
	DI	▲ 9.4			3.1			▲ 21.9			▲ 21.9			▲ 21.9			▲ 15.6		

※ DI値：「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

：従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果（地域別比較表）

（第4四半期：2024年4月～6月）

1. 今期の状況

業種	項目	業況			売上額・完成工事額			資金繰り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全県	実数	17	100	46	30	74	59	13	118	32	6	41	17	21	91	51	11	97	55
	%	10.4	61.3	28.2	18.4	45.4	36.2	8.0	72.4	19.6	9.4	64.1	26.6	12.9	55.8	31.3	6.7	59.5	33.7
	DI	▲ 17.8			▲ 17.8			▲ 11.6			▲ 17.2			▲ 18.4			▲ 27.0		
秋田	実数	9	33	18	12	27	21	7	41	12	2	16	7	9	30	21	5	33	22
	%	15.0	55.0	30.0	20.0	45.0	35.0	11.7	68.3	20.0	8.0	64.0	28.0	15.0	50.0	35.0	8.3	55.0	36.7
	DI	▲ 15.0			▲ 15.0			▲ 8.3			▲ 20.0			▲ 20.0			▲ 28.4		
大館	実数	2	14	6	3	10	9	1	15	6	0	5	3	3	10	9	2	11	9
	%	9.1	63.6	27.3	13.6	45.5	40.9	4.5	68.2	27.3	0.0	62.5	37.5	13.6	45.5	40.9	9.1	50.0	40.9
	DI	▲ 18.2			▲ 27.3			▲ 22.8			▲ 37.5			▲ 27.3			▲ 31.8		
能代	実数	0	15	6	1	12	8	0	20	1	1	3	2	1	16	4	1	18	2
	%	0.0	71.4	28.6	4.8	57.1	38.1	0.0	95.2	4.8	16.7	50.0	33.3	4.8	76.2	19.0	4.8	85.7	9.5
	DI	▲ 28.6			▲ 33.3			▲ 4.8			▲ 16.6			▲ 14.2			▲ 4.7		
大曲	実数	2	15	2	5	8	6	0	14	5	2	6	0	3	12	4	2	9	8
	%	10.5	78.9	10.5	26.3	42.1	31.6	0.0	73.7	26.3	25.0	75.0	0.0	15.8	63.2	21.1	10.5	47.4	42.1
	DI	0.0			▲ 5.3			▲ 26.3			25.0			▲ 5.3			▲ 31.6		
横手	実数	1	11	10	4	7	11	2	15	5	0	5	4	2	12	8	1	13	8
	%	4.5	50.0	45.5	18.2	31.8	50.0	9.1	68.2	22.7	0.0	55.6	44.4	9.1	54.5	36.4	4.5	59.1	36.4
	DI	▲ 41.0			▲ 31.8			▲ 13.6			▲ 44.4			▲ 27.3			▲ 31.9		
湯沢	実数	3	12	4	5	10	4	3	13	3	1	6	1	3	11	5	0	13	6
	%	15.8	63.2	21.1	26.3	52.6	21.1	15.8	68.4	15.8	12.5	75.0	12.5	15.8	57.9	26.3	0.0	68.4	31.6
	DI	▲ 5.3			5.2			0.0			0.0			▲ 10.5			▲ 31.6		

※ DI値：「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

：従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果（地域別比較表）

（第4四半期：2024年4月～6月）

2. 来期の見通し

業種	項目	業況			売上額・完成工事額			資金繰り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全県	実数	17	103	43	32	86	45	8	116	39	8	45	11	17	99	47	11	105	47
	%	10.4	63.2	26.4	19.6	52.8	27.6	4.9	71.2	23.9	12.5	70.3	17.2	10.4	60.7	28.8	6.7	64.4	28.8
	DI	▲ 16.0			▲ 8.0			▲ 19.0			▲ 4.7			▲ 18.4			▲ 22.1		
秋田	実数	7	36	17	11	32	17	4	42	14	2	18	5	8	34	18	4	39	17
	%	11.7	60.0	28.3	18.3	53.3	28.3	6.7	70.0	23.3	8.0	72.0	20.0	13.3	56.7	30.0	6.7	65.0	28.3
	DI	▲ 16.6			▲ 10.0			▲ 16.6			▲ 12.0			▲ 16.7			▲ 21.6		
大館	実数	2	13	7	4	9	9	0	12	10	1	6	1	1	12	9	2	11	9
	%	9.1	59.1	31.8	18.2	40.9	40.9	0.0	54.5	45.5	12.5	75.0	12.5	4.5	54.5	40.9	9.1	50.0	40.9
	DI	▲ 22.7			▲ 22.7			▲ 45.5			0.0			▲ 36.4			▲ 31.8		
能代	実数	1	17	3	2	16	3	0	19	2	2	4	0	1	15	5	1	19	1
	%	4.8	81.0	14.3	9.5	76.2	14.3	0.0	90.5	9.5	33.3	66.7	0.0	4.8	71.4	23.8	4.8	90.5	4.8
	DI	▲ 9.5			▲ 4.8			▲ 9.5			33.3			▲ 19.0			0.0		
大曲	実数	2	13	4	3	11	5	1	13	5	2	6	0	3	10	6	2	9	8
	%	10.5	68.4	21.1	15.8	57.9	26.3	5.3	68.4	26.3	25.0	75.0	0.0	15.8	52.6	31.6	10.5	47.4	42.1
	DI	▲ 10.6			▲ 10.5			▲ 21.0			25.0			▲ 15.8			▲ 31.6		
横手	実数	2	12	8	6	10	6	0	16	6	0	5	4	1	16	5	2	14	6
	%	9.1	54.5	36.4	27.3	45.5	27.3	0.0	72.7	27.3	0.0	55.6	44.4	4.5	72.7	22.7	9.1	63.6	27.3
	DI	▲ 27.3			0.0			▲ 27.3			▲ 44.4			▲ 18.2			▲ 18.2		
湯沢	実数	3	12	4	6	8	5	3	14	2	1	6	1	3	12	4	0	13	6
	%	15.8	63.2	21.1	31.6	42.1	26.3	15.8	73.7	10.5	12.5	75.0	12.5	15.8	63.2	21.1	0.0	68.4	31.6
	DI	▲ 5.3			5.3			5.3			0.0			▲ 5.3			▲ 31.6		

※ DI値：「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

：従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

参 考

県内景況調査に対する各企業のコメント

I 今期の特徴（2024年4～6月）

1 県 央	
建設業	今期は収益が望まれる工事の受注に恵まれていた【一般土木建築工事業】
建設業	着工時期の遅れによる完成工事高の減少が見られた。遊びが生じたため経費の増加となり、採算は悪化となる【一般土木建築工事業】
建設業	まだ工事が始まったばかりのため、完成工事がない【土木工事業】
建設業	公共工事が減少し、民間工事が増加した【塗装工事業】
建設業	人員増加により、完成工事額が増加した【一般電気工事業】
製造業	節約志向の高まりによる家庭用の実需の低迷と、競争激化により首都圏の量販店が苦戦。比較的高めの気温や昨年の海外輸出商品値上げ前の仮需の裏返しの影響も大きかった【清酒製造業】
製造業	価格上昇分売上額は増えているが、コスト増加が厳しくなっている。現在、状況は良くない【水産物製造・卸売業】
製造業	今期については、物件数・受注金額ともに減少している。昨年からの情報は入っており、覚悟はしていたが大手ゼネコンも受注数が減少しているので仕方がないかと思う【金属製品製造業】
製造業	急激な物価上昇により、事業計画の見直し、中止が続いている【金属製品製造業】
製造業	値上げ交渉をして、進展あり【消火器具・消火装置製造業】
卸売業	月単位で増減はあるが、5月と6月連続で売上が低迷したのは珍しい【飲料卸売業】
小売業	目も当てられない状態である。ここまで落ち込む理由がわからない【茶類小売業】
小売業	どうにか前年割れをしなかった【自動車部分品・附属品小売業】
小売業	一部商品の出荷停止・生産停止の影響から、メーカー出荷台数が大幅に減少したことから、減収・減益となった【自動車小売業】
サービス業	原料の石油価格が値上げ止まりが続いている【普通洗濯業】
サービス業	主要貨物の木材・亜鉛鉱の取り扱いが戻っていない状況。人件費（賞与込み）の上昇により業況は不透明である【港湾運送業】

2 県北	
卸売業	前年度に比べ少々売上が下がったものの、採算ラインで落ち着いている。物価高により消費が低迷しているため、現状の営業方式では売上の積上げが難しい【青果・水産物卸】
卸売業	前年同期より気温が低いため売上が上がらない【清涼飲料の卸売】
小売業	物価上昇のあおりで、いわゆる滑稽品を売っているため、売上は減少傾向になった【生花・造花販売】
小売業	日々高騰する原材料や電気料金をはじめとする光熱費、人件費による負担で赤字であるのに生活費の負担が増えているので財布のひもは固く売上が低迷している【菓子製造販売】
小売業	法人・個人ともに減少【タイヤ販売】
小売業	気温が上がるのが遅かったため、それに伴い売上が上がるのが遅かった【衣類販売】
サービス業	人手不足により、注文を捌ききれず、お断りする状況が続いている【食堂】

3 県南	
建設業	不変としているものの、継続工事は減少した【総合建築工事業】
建設業	顧客の高齢化に伴う受注難【建築工事】
製造業	受注は昨年度より微増傾向にあるが、物価高による製造コストアップ分をまだ完全には価格転嫁できていない状況【電気機器製造】
卸売業	製造メーカーの製品がストップしたため売上が減少した【雑貨卸売】
小売業	前年と同様であった【燃料販売】
小売業	景気減速で、円安による値上げの影響が大きい状況であった【金物小売】
小売業	暖かくなってきたため、人の動きが目立つ。しかし、物価上昇に伴い、購買意欲の低下が見られる【菓子製造小売】
サービス業	コロナ終息で伸びてはいるが、物価高もありコロナ前には完全には戻ってはいない【ホテル業】
サービス業	お客様の生活様式の変化が会社の主力部門である婚礼や葬儀に対し、現在も影響を及ぼしている。宴会需要は140%増加している【冠婚葬祭式場】
サービス業	前期より若干減少するものの、概ね例年並みに推移した【自動車钣金業】

Ⅱ 来期の見通し（2024年7～9月）

1 県 央	
建設業	下半期に向けて受注にはずみをつけたいと思う【一般土木建築工事業】
建設業	完成工事は増加すると思うが、採算は世の中の情勢によるためわからない【一般土木建築工事業】
建設業	値上げも一通り落ち着いてきた感じがする【木造建築工事業】
建設業	新規顧客の見込みがあり、多少ではあるが完成工事額の増加見込みで、前期の取戻しができそう。その先は今のところ見通しが不鮮明【一般土木建築工事業】
建設業	今期と同様に公共工事が減少し、民間工事が増加する見込み【塗装工事業】
建設業	元請けからの工事単価アップが決定し、完成工事額・採算ともに好転する見込み【一般電気工事業】
製造業	昨年の輸出の仮需の反動は和らいでいくが、この夏の気温は全国的に平年より高い猛暑の予想。資材の高止まりに加え、政府の「電気・ガス価格変動緩和対策事業」が終了するため、電気代の値上がりに伴うコストのさらなる上昇が懸念される【清酒製造業】
製造業	来期も同じような状況で推移する見込み【水産物製造・卸売業】
製造業	来期はこのままの状況が続く予定。10月以降からは受注は回復する予定である【金属製品製造業】
製造業	前期と変わらずだが、先行きは見えてこない【金属製品製造業】
卸売業	生産人口減少に伴う、人件費の上昇【野菜卸売業】
卸売業	猛暑の場合、売上はマイナス方向へ向かうと想定する【飲料卸売業】
卸売業	主力商品の値上げを実施予定である【紙製品卸売業】
卸売業	好天による暑さにより飲料水の需要増加に期待する【娯楽用品・がん具卸売業】
小売業	夏場に向かうので、どんどん厳しい状況になると思われる【茶類小売業】
小売業	対前年比はクリアしてほしいところ【自動車部分品・附属品小売業】
小売業	前期の問題が長期化する見込みから、商品の出荷遅れの解消が不透明に加え、商品改良に遅れが発生、受注可能車種が限定的になり、新規受注台数が減少していることから、前年同期間の販売台数を下回ることが予測されたため、減収・減益を見込む【自動車小売業】
サービス業	前期の状態が続き、顧客の売上は伸びないと考えられる【普通洗濯業】
サービス業	前如同様、値上げ要請は行っているが回答を得られていない状況は継続中。採用（中途）も見込めずにいる【港湾運送業】

2 県北	
卸売業	6月から改善の兆しが見られる、お盆の期間の売れ行き次第である。しかし65歳を超えた従業員が数名退職予定で、補充の見通しが立っていない。電気代値上げも不安要素である【青果・水産物卸】
卸売業	前年並みの気温になるのを期待している【清涼飲料の卸売】
小売業	今期同様の理由で減少していくものと思われる【生花・造花販売】
小売業	今期と同様である【菓子製造販売】
小売業	梅雨が明けて、気温がどのくらいまで上がり続くのかによって売上額が変動する【衣類販売】
サービス業	来期も今期と同様になると見込んでいる【食堂】

3 県南	
建設業	来期は減収見込み。大口工事の受注が現段階では不透明である【総合建築工事業】
建設業	今期と同様であると思われる【建築工事】
製造業	半導体関連が急激な増産となっており、売上は増加の見込み。ほかの顧客からの受注も微増ではあるが、増加の予想をしている。また、製造コスト増加分の価格転嫁が進み、経常利益も好転する見込み【電気機器製造】
小売業	減益を見込む【燃料販売】
小売業	この先も回復する見通しが見えない【金物小売】
小売業	季節がら帰省客による売上増、また猛暑による売上も期待できる【菓子製造小売】
小売業	来期は主張販売が多く、売上が見込める【酒類、食料品】
サービス業	物価高で外食産業はこれから悪くなる一方だと感じる。特に宴会は大きい会場の需要がなくなってきていると思われる【ホテル業】
サービス業	今後の状況も4~6月と大きな変化はないと予想される【冠婚葬祭式場】
サービス業	前期より増加見込みであり、資金繰りが苦慮【自動車钣金業】